

『まるごと 入門 A1』「かつどう」テストとふりかえり 1・2の進め方

この文書は『まるごと 入門 A1』「かつどう」の「テストとふりかえり」(本冊 p71-p72、p114-p115)の補足説明です。テストの時間配分や質問・問題の数などは、実際の授業に合わせて適宜調整してください。

1. Can-do チェック (10分)

Can-do チェックを見直して、何をやったか思い出します。コメント欄に、記入した日付を書いておくとよいでしょう。学習者が自分にとって大切な Can-do を選んだり、もう一度練習したい Can-do をペアで練習したりします。時間がなければ、見るだけでもいいです。

2. 文字・会話テスト (15人クラスの場合 ひとり 3~4分×15人=60分)

文字テスト:文字テストは、文字を正確に音声化できることがポイントです。教師は各トピックで学習した語を選んで、各々、カードに書いておきます。意味の確認は、母語やイラストを指したりして簡単に行いましょう。5つのことばのうち、3つ読めたら合格です。

会話テスト:会話テストは、各トピックで練習した会話を、教師がテストします。学習したトピックで Can-do 目標の会話が「A1 レベルなりに」できれば合格です。『まるごと』では「A1 レベルなり」を次のようにイメージしています。

- ・交流場面(一般的な会話)では、会話の相手から簡単な表現で身近なことを聞かれたときに、簡単に答える(相手が会話を主導する)。
- ・定型表現(決まった場面で使われる決まった表現)を覚えて使う。(あいさつ、タクシー、買い物、など)
- ・地図や掲示物などの視覚情報を利用して、簡単なやりとりをする
- ・相手となんとかコミュニケーションしたいという態度を持っている
- ・意味を考えずに丸暗記した会話文ではなく、自分の話したいことを伝えるためにコミュニケーションする/しようとする

入門 A1 の会話テストでは、教師が主導して質問を 5 つ出しますが、そのうち 3 つ以上答えられたら合格とします。『まるごと』本冊に評価に使うループリック(評価票)の例があります。後掲の<会話テストの準備と方法>、及び<評価とループリック>の例も参考にしてください。

3. グループで話しましょう

会話テストの順番が来るのを待っている間、学習者たちは小グループ(4人ぐらい)になって、以下のようなもの(ポートフォリオ(各自の学習記録用ファイル)に入れてある)を見

せ合いながら共有します。

- ・教室外での日本語・日本文化の体験記録
- ・各自で書いたり作ったりした作文やカードなど

楽しく活発な話し合いを促すために、話し合いでの使用言語を日本語に限る必要はありません。むしろ、学習者同士で自由に話せる言語（母語や媒介語）を使うことをおすすめします。日本語と母語・媒介語の両方（話しながら使いやすいほうを使う）でももちろんかまいません。

4. ほかに人にも話しましょう

時間があれば、グループで話し合ったことをほかのグループの人にも話します。上記「3.グループで話しましょう」と同様、使用言語は学習者にとって話しやすい言語、互いにわかりやすい言語にします。

<会話テストの準備と手順>

会話テストは、各トピックで練習した会話を、教師がテストします。学習したトピックで Can-do 目標の会話が A1 レベルなりにできれば合格です。

- ・会話では、以下の例のように、(語彙の範囲を広げるために)複数のトピックから Can-do 会話の質問を選びます。できるだけ、5つの質問が会話として全体的につながるように配置します。
- ・A1 レベルはまだ自由に会話ができるレベルではないので、教師のほうから質問をして会話を主導していきます。学習者が答えたら「へえ、そうですか」「いいですね」「私もですよ」「ふうん」「なるほど」「(うなづく)」など、聞いていることを言葉や態度で示して、自然な会話、本物のコミュニケーションのようにして、進めましょう。
- ・学習者が質問に答えるだけでなく自分からいろいろなことを話したり、質問をしたりすることも、もちろん大いに「あり」です。テストではありますが、時間の許す限り学習者との会話を楽しんでください。
- ・会話テストは緊張するので、テスト日の1週前の授業の時にでも、方法を説明し、教師とのやりとりを例示しておいたほうが良いでしょう。また、テストの日も、テストを始める前に方法を簡単に説明しましょう。

以下、例1・2はトピック1～5、例3・4はトピック6～9の Can-do の組み合わせです。例1には実際の会話テストを想定したやりとりを加えました。「自然に楽しく」が大事です。

会話テストを始める前に、方法の確認と緊張の解きほぐし

T:Teacher 教師 L:Learner 学習者

T: ○○さん、こんにちは。 (教師はぜひやさしい表情で)

L: こんにちは。

T: きょうは、会話のテストをします。私が簡単な質問をします。

○○さんは答えてください。

わからないときは、「もう一度」と言ってくださいね。(方法を理解したか確認する)

だいじょうぶです。楽しい会話をしましょう。(緊張しないように励ます)

例1 (トピック3 たべもの・トピック5 せいかつ)

5つの質問:

- ・ 毎日何時に起きますか。(Can-do23)
- ・ 毎日何時に寝ますか。(Can-do23)
- ・ いつも朝ごはんを食べますか。(Can-do11)
- ・ (朝ごはんに) 何をよく食べますか。(Can-do11)
- ・ すきな料理は何ですか。(Can-do12)

<テストの様子(想定会話)>

T: では、○○さんの生活について、おしえてください。

毎日何時に起きますか。(Can-do23)

L: …? もう一度…

T: はい、だいじょうぶですよ。○○さんは、毎日何時に起きますか。

L: ああ、6時ごろ起きます。

T: おお、6時ですか。早いですね。私は7時です。

L: そうですか。先生、7時も早いです。

T: ありがとう。じゃあ、毎日何時に寝ますか。(Can-do23)

L: 12時ごろです。

T: 遅いですね。朝、だいじょうぶですか。

L: はい、だいじょうぶです。

T: いつも朝ごはんを食べますか。(Can-do11)

L: はい。いつも朝ごはん、食べます。

T: 何をよく食べますか。(Can-do11)

L: えーと、パンとコーヒーです。くだものもよく食べます。

T: くだもの? 私もよく食べます。たまごは?
 L: たまごはあまり食べません。
 T: そうですか。〇〇さん、**好きな料理は何ですか。**(Can-do12)
 L: 日本の料理? / 日本で?
 T: はい、なんでもいいですよ。日本でも (〇〇さんの国) でも。
 L: えー、ラーメンです。ラーメンがいちばん好きです。
 きのう、昼ごはん、ラーメン。
 T: わあ、ラーメンは私もよく食べますよ。おいしいですね。
 L: はい、おいしいです。
 T: たくさん食べてください。食べ過ぎないように。Don't eat too much. (母語か媒介語)
 じゃあ、これで終わります。どうもありがとうございました。
 L: ありがとうございました。

評価: 5つの質問にぜんぶ答えられたので、3段階の一番上「すばらしい」で合格。

例2 (トピック2 どうぞよろしく・トピック4 いえ・トピック5 せいかつ)

T: では、はじめます。
 ・ 〇〇さん、お仕事は? (Can-do5/8)
 ・ 毎日何時に会社/学校にいきますか。
 (会社や学校に行かない人の場合) ⇒ 毎日何時に起きますか/寝ますか(Can-do23)
 ・ どこに住んでいますか。(Can-do8/16)
 ・ ひとりで? / かぞくと? (住んでいますか。)(Can-do16)
 ・ どんないえですか/いえはひろいですか。(Can-do16)

例3 (トピック7 まち・トピック8 かいもの・トピック9 やすみのひ2)

T: (学習者の持ち物を指して) 〇〇さん、それ、かわいいバッグですね。/ そのTシャツ、
 かっこいいですね。とてもいいですよ。
 ・ 私も (かわいいバッグ) がほしいです。どこで買えますか。(Can-do40)
 ・ (〇〇モールで買えます) その〇〇までどうやって行きますか。(Can-do35)
 ・ とおいですか。(Can-do35)
 T: じゃあ、休みの日に/土曜日に行ってみます。

(1週間たちました)

- ・私は土曜日に△△モールにいきましたよ。～さんは 休みはどうでしたか。(Can-do45)
- ・つぎの休みは/来週は何をしたいですか/どこに行きたいですか。(Can-do50)

例4 (トピック6 やすみのひ1・トピック9 やすみのひ2)

T:では、しゅみの話をしましょう。いいですか。

- ・〇〇さん、趣味は何ですか。(Can-do28)
- ・どんな(映画)がすきですか。(Can-do28)
- ・先週の(日本映画ウィーク)行きましたか。(Can-do46) ※地元の情報を使う
(行きました。)⇒・どうでしたか。よかったですか。(Can-do46)
・またいきますか/いきたいですか。(Can-do46)

(行きませんでした。)⇒・そうですか。じゃあ、何をしましたか。/家にいましたか。
・どうでしたか。/家で何をしましたか?

<評価とループリック>

以上のような方法で学習者に質問をしながら、会話テストを行います。評価にはループリック(評価表)を使います。教科書にもその例を載せていますので、参考にして学習者に手渡すための書式を作ってください。コメント欄を加えて、答えられなかった質問、今後の学習のためのアドバイスや励ましのことばなどを書いてわたすのも良いと思います。

全部で5つの質問のうち、3つ以上できたら「合格」です。「素晴らしい」もありますが、「できました」が標準です。『まるごと』入門はコミュニケーションをA1なりにがんばって行えばよいと考えています。

クラスの大多数(できれば全員)が「できました」か「素晴らしい」をとって「合格」することで、自分なりにがんばれたという満足感と達成感を感じ、日本語学習の意欲を高めてほしいと願っています。

〇〇〇〇〇さん

会話テスト

〇〇〇〇年〇月〇日

	すばらしい Excellent!	しつものに ぜんぶ こたえて かいわを することが できました。 You answered all the questions and were able to have a conversation. (母語などの訳文)
✓	できました Well done!	しつものに 3ついじょう こたえて かいわを することが できまし た。You answered three or more questions and were able to have a conversation.
	もうすこし Getting there!	しつもんがりかいできませんでした。うまく こたえられませんでした。 You could not understand or answer the questions well.

コメント:

(答えられなかった質問、今後の学習のためのアドバイスや励ましのことばなど)

機関名／講座とクラス名 _____

担当した教師の名前 _____